



北海道造形教育連盟報

No.148 2019.7.10発行

発行 北海道造形教育連盟

会長 森長弘美 (札幌市立宮の森中学校長)

事務局長 東 尚典 (札幌市立有明小学校長)

事務局 札幌市立有明小学校

〒004-0821

札幌市清田区有明141-2

TEL(011)881-2949・FAX(011)881-9074

北造連HP <http://hokuzou.kir.jp>



今こそ、創造性を豊かにする造形教育を

北海道造形教育連盟

会長 森長弘美

(札幌市立宮の森中学校長)

4月20日に委員総会・研修会が開催され、本年度の活動が始まりました。年度初めの業務が一段落した貴重な休日にもかかわらず、各地区サークルの皆様、会員の皆様には多数ご参加いただき、誠にありがとうございました。

平成29年3月に示された新学習指導要領が、いよいよ来年度、小学校での全面実施を迎えます。これまでの2年間、それぞれの小学校では、三つの柱に整理された資質・能力を身に付けさせるために、新しい教育課程が作られてきたことと思います。

一方、新学習指導要領が求める「主体的・対話的で深い学び」は、私たちが進めてきた造形教育の形をそのまま言い表しているともいえますので、図工・美術における新しい指導の在り方を探ることは、私たちが積み上げてきたものを打ち消して新たなものを組み立てていくのではなく、これまで行ってきたことを検証し、発展させたり、改善したり、または体系づけたり、入れ替えたりと、いわば整理して明確にする作業と考えられます。これは、私たち指導する側にとっては、自分たちが行ってきたことを振り返る絶好の機会とも言えましょう。

さて、幼保の教育要領・保育指針の「表現」から高校美術の指導要領まで共通する理念は何かと言えば、それは「創造性」「創造する力」です。

今こそ、私たちが培ってきた研究が授業に生かされる時であり、子どもたちの個性に合わせた、的確な支援・指導によって、創造性を豊かにする造形教育をさらに深めて行かなくてはなりません。

北海道造形教育連盟が掲げてきた研究主題「“わたし”を創る～今を生きる、共に生きる造形教育～」が目指す「子どもが自ら自己選択し自己決定をしていく、主体的な造形活動を通して新たな見方・感じ方を獲得し、自己を更新していく」研究は、「創造性」「創造する力」に通じるものであります。「創造性」「創造する力」は「“わたし”の更新」を促し、「未来をよりよく生きるための資質・能力」に結実するものといえましょう。

また、7月には、第69回全道造形教育研究大会道北ブロック大会が旭川市で開催されます。研究テーマ「「わたし」を映す」の下、子どもたちの未来につながる、創造性あふれる実践発表が行われ、全道各地の造形教育に携わる皆様の参加によって新たな成果が生まれることを期待しています。

北海道造形教育連盟は、研究大会や研修会、教育美術展の開催・運営、他の機関との連携などを通して北海道の造形教育に資するよう、今年度も各地区サークルとの協力を図りながら、活動を進めてまいりますので、ご理解とご協力をいただけますよう、心よりお願い申し上げます。

北海道造形教育連盟役員・本部事務局

- 会長 森長 弘美 (札幌市立宮の森中学校長)
- 副会長 吉中 博道 (美瑛町立美馬牛小学校長)
- 副会長 谷口 光伸 (函館市立北昭和小学校長)
- 副会長 藤森 久美 (札幌市立前田中央小学校長)
- 副会長 服部 和樹 (豊頃町立豊頃中学校長)
- 副会長 山田 浩人 (石狩市立樽川中学校長)
- 会計監査 滝本 都子 (留萌市立東光小学校教頭)
- 会計監査 木村 麻岐 (函館市立五稜郭中学校)
- 会計長 福島由紀子 (札幌市立大倉山小学校教頭)
- 会計次長 櫻田 悟 (札幌市立盤溪小学校教頭)
- 事務局長 東 尚典 (札幌市立有明小学校長)
- 事務局次長 湯浅 大吾 (札幌市立鴻城小学校)
- 事務局次長 池田 武彦 (札幌市立南白石小学校)

- 事務局次長 平井 歩 (札幌市立月寒中学校)
- 事務局次長 堀口 基一 (北海道教育大学附属札幌小学校副校長)
- 事務局次長 寺田 実 (札幌市立平岡緑中学校教頭)
- 事務局次長 八田 博之 (札幌市立富丘小学校教頭)
- 庶務部長 森 久根 (札幌市立西野小学校)
- 庶務副部長 黒川 友理 (札幌市立栄西小学校)
- 広報部長 篠原 貴 (札幌市立桑園小学校)
- 広報副部長 渡邊 千晴 (札幌市立拓北小学校)
- 広報副部長 小林 知広 (札幌市立手稲山口小学校)
- 研究部長 中村 珠世 (北海道教育大学附属札幌小学校)
- 研究副部長 石川 早苗 (札幌市立啓明中学校)
- 研究副部長 舘内 徹 (札幌市立西岡中学校)
- 研究副部長 佐藤 和音 (札幌市立伏見小学校)
- 研究副部長 菊地 惟史 (札幌市立円山小学校)



「第69回全道造形教育研究大会 道北ブロック大会」に期待するもの

北海道造形教育連盟

研究部長 中村 珠 世

(北海道教育大学附属札幌小学校)

空知・岩見沢大会から 道北ブロック大会へ ～ “子どもの資質・能力で語る” というたすきをつなげて～

今年も造形教育を熱く語り合う全道大会の時期がやってきました。7月30日（火）、第69回全道造形教育研究大会が旭川で開催されます。大会まで1ヶ月を切り、準備に携わってくださっている関係者の皆様にとってはラストスパートの時期。「明日の授業につながっていくような大会に」というコンセプトのもと、授業をはじめ様々な提案を準備されていることもあり、ご苦労されていることも多くあるかと思えます。その「思い」に応えるべく、ぜひ会場の旭川市立永山中学校にみなさんで集まり、熱い1日を共に過ごしたいと思えます。

さて、昨年行われた空知・岩見沢大会では各授業・分科会の会場に「つぶやきの木」が設置され、そこに「りんごのカード（付箋）」が貼られていたのを覚えている方も多くいらっしゃるでしょう。「おもう・さぐる・つながる・つなげる」という4つの要素を窓口に、目の前にいる子どもの姿を見つめ、その資質・能力の表れを見取り書いていくという取組でした。

新学習指導要領では3つの柱に沿って育成を目指す資質・能力が全ての教科において示されています。図画工作・美術においてはこれまでも資質・能力で観点が整理されていましたが、今まで以上に「どのような資質・能力を育てていくのか、育まれたのか」という視点で授業改善をしていくことが求められていると言えます。昨年度の取組はこの方向に向かっていくものであったと言えます。

今大会では新学習指導要領を授業づくりの土台にしっかりと位置付けながら研究を進めてきています。造形教育の価値を改めて見つめ発信していく上でも、

今大会も“子どもの資質・能力で語る”というたすきをしっかりと繋げていくことが肝要です。

また、分科会等では是非とも「子どもの姿（資質・能力の表れ）」と共に「教師の指導の手立て」を合わせて語りたいものです。“子どもがそのような資質・能力を発揮していたのは、どのような指導の手立てがあったからなのか”…それを結び付けて整理していくことが、私たちの日々の授業改善に、つまりは未来の子どもを育むことにつながるものと考えます。

地域の課題に向き合う大会の 在り方を考える機会に

さて、今回の大会は「道北ブロック」大会という名称になっています。上川・旭川を超え、北は宗谷地方も加え広域での大会運営が進められています。

年2回行われるネットワーク会議では毎年のように「図工・美術を一緒にやってみようという仲間が増えなくて…」「免許外で困っている人も…」「授業をどうつくっていけばよいか相談したくても近くには…」というような各地域の悩みや課題が挙げられます。

道北ブロックでの開催となる本大会の取組は、今後も広域にわたる仲間がつながり合い、共に授業研究を進めていく上で参考となる部分があるはずで、授業と共に、そのような面にもぜひ目を向けていきたいと思えます。

終わりになりますが、毎年、参加者の図工・美術に対する熱い情熱と、子どもたちに向けるあたたかいまなざしで熱気に包まれる全道大会。今年も全道各地の仲間とこれからの子ども、これからの授業、これからの図工・美術について大いに語り合いながら、明日への大きなエネルギーをもらえる大会になることを期待しています。

第69回全道造形教育研究大会道北ブロック大会

研究テーマ 『わたし』 を映す

開催日 2019年7月30日(火)

場所 旭川市立永山中学校 (北海道旭川市永山7条19丁目1)

参加費 3,500円 (※インターネット申込みの場合は3,000円になります)

| | | | | | | | | | | |
|----|-----------|-------|-------|-------|------------------|-------|----------------|-------|-------|--------|
| 受付 | 研究について | 授業① | 授業② | 開会式 | 造形まつり in 全道造形 | | 分科会 | | 移動 | レセプション |
| | | | | | 昼食 | 移動 | 旭川美術館 公開鑑賞会 | 分科会 | | |
| | 9:00-9:30 | 10:30 | 11:30 | 12:00 | | 13:45 | 14:00 | 15:00 | 16:00 | 18:30 |

新学習指導要領準拠

- 移行期間中の先行実施を見据えた授業を展開
- 4観点から3観点到！目標と評価方法についても提案

様々なニーズに応える授業

- 小学校5本、中学校4本、幼稚園4本、高校1本の公開授業&分科会
- ICTの具体的な活用方法や、小規模校での授業実践

美術館・地域との連携

- 旭川市彫刻美術館と連携した「彫刻出前事業」による鑑賞授業
- 北海道立旭川美術館と中学校美術部との連携事業による鑑賞活動

造形まつりin全道大会

- 免許外の先生も注目！授業のヒントがいっぱい。
日々の授業にすぐに役立つ題材を、屋台形式で提案！

すぐにアクセス！▶

※大会参加申し込みは、FAXまたはネットでできます！

造形Online <http://zoukeionline.web.fc2.com/>

造形 Online で検索！▶ 特設サイトへ



第46回 北海道教育美術展のお知らせ

◇作品のご応募をお待ちしています！

- ・幼稚園・保育所・認定こども園、小・中学校の授業から生まれた作品をお待ちしております。絵画や版画、デザイン画などの作品をご出品ください。
 - ・四つ切大の作品を規定(小学生以下)としていましたが、授業時数を踏まえ、高学年は八つ切り大の作品でも応募を可能としました。
 - ・近年、貼り重ねたり、開いて見たりするなど、多様な表現の方法が見られます。展覧会で掲示されてもはがれたり破れたりしない作品をご出品ください。
- 締切(12月中旬)や応募先など詳細は9月頃に各園・各校に送付いたします。

◇審査研修会にご参加を！

全道から集まる2万点近くの作品を見て、そのよさや作品に込められた思いなどを話し合う審査研修会は、造形教育に携わる教師の絶好の研修の機会となります。幼稚園から中学校までの作品を見て、全道各地の先生方と語って研鑽を深めませんか。12月26日(木)27日(金)の日程で行われます。ご都合をつけられ、ぜひご参加ください。

◇展覧会にもご来場ください！

奨励賞及び入選作品600点以上を一堂に展示する作品展も、貴重な研修の機会となります。お近くにお越しの際は、ぜひ足をお運びください。

会期 令和2年1月10日(金)～1月13日(月)

会場 道新ぎやらりー及び道新DO-BOX (札幌市中央区大通西3丁目)



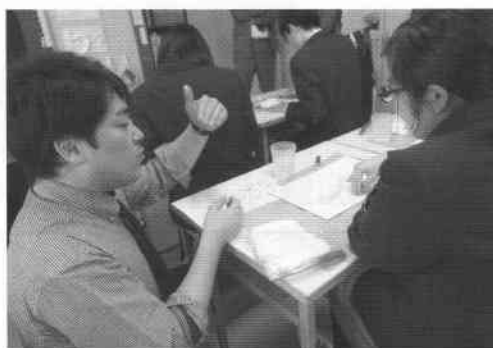
今年度の札造の活動紹介

事務局長 勝田 真塩（札幌市立琴似中学校校長）

札幌市造形教育連盟では、昨年度、3つの授業チームを編成して研究授業を行いました。「もっとこうしたいを生む題材化」と「子供が学びを実感する教師の動きかけ」を研究の視点として、11月から2月にかけて順次行いましたが、その中で授業づくりの課題が次のようにあげられました。題材化については、育みたい資質や能力をより明確した題材構成の工夫、材料や用具の適切さの検討、また探究する子供の姿をより具体的に想定した学習展開の工夫、教師の動きかけについては、子供自身が自己の変容や成長を自覚することのできる評価の在り方、環境構成の工夫などです。

また今年5月19日には総会を開催し、今年度の活動方針等を確認しました。特に研究については、令和3年7月に開催を予定している第74回全国造形教育研究大会札幌大会に向け、小学校・中学校と特別支援学級での授業づくりを4チームで進めていくこととしました。平成30年度の課題を踏まえ、研究主題「この子が感じる＝考える＝表す ～造形的な見方・考え方を豊かにする学びを通して～」に迫りたいと思います。

近年、札幌市造形教育連盟も、会員の減少や世代交代によるベテラン会員の減少など他サークル同様の課題を抱えていますが、藤森久美会長の下、チームで授業研究を進め、題材や教材開発、実技研修などにも取り組み、若手のつながりを広げながら会の活性化を図っていきたいと考えています。



上川造形教育研究会の活動について

事務局長 藤原 賢（富良野市立富良野西中学校）

上川造形教育研究会は、造形教育による子どもの育ちを願い、会員の指導力の向上や見識を広げ、造形教育の振興を図る目的で活動しています。数年前から、旭川市教育研究会図工・美術部と、共通の研究テーマで活動しています。現在、研究テーマ「「わたし」を映す」、研究主題「自己を見つめ、創造的に表す造形活動」、目指す子ども像「自分なりの意味や価値をつくりだし、主体的に表す喜びを味わう子」で、研究を進めています。

私は2018年から事務局長をしていますが、活動のモットーは、「すべきこと、したほうがよいことを「とにかく楽しむ！」」です。どんなことでも、責任感や使命感だけではモチベーションを維持することは難しいことです。すべきこと、したほうがよいことを楽しむ努力をし続けたいと思います。このことを2018年全道造形教育連盟総会の懇親会で話したら、連盟の役員さんにも「その通り！」と言ってもらい、自信をもって楽しく、活動を推進していきたいと思いました。



そんな姿勢を感じていただいたのか、今年度の全道大会に向けて会員の中から4名が積極的に公開授業を引き受けてくれました。また、授業づくりを授業者任せにせず、指導案検討に参加したり、プレ授業を積極的に引き受けてくれたりする会員がいて、うれしい限りです。会員のつながりの温かさにはいつも勇気をもらいます。みなさんから届いた勇気を、「図工や美術って楽しい！」という子どもや、「図工や美術って楽しい！」という教員が、ますます増えるように、これからも研究を推進し、仲間を増やし、活動を発信していきたいと思います。



あ と が き

今年度も、北海道造形教育連盟の活動が始まりました。夏には、全道造形教育研究大会道北ブロック大会が開催されます。子どもたちの造形活動の充実を図るため、日々努力されている皆様方と交流できる貴重な機会となりますので今からとても楽しみにしています。また、教育美術展に向けた取り組みも進んでいくことと思います。チーム北海道として、一致団結し、皆様とともに研鑽を積んで行けたらと思いますのでよろしくお願いいたします。

<北海道造形教育連盟 広報部> 篠原 貴・渡邊 千晴・小林 知広